

2026
10月

月次 39レター

毎月発行するお客さまへのお知らせレターです

第 266 号-①【基準日 2026 年 9 月 30 日】



🌸 社長メッセージ



物価高時代の生活防衛と資産運用

ありがとう投信株式会社
代表取締役社長 長谷 俊介



皆さま、いつもありがとう投信をご愛顧いただきまして誠にありがとうございます。今年も早いもので10月になりましたが、いかがお過ごしでしょうか。今年の9月は残暑の代わりに、台風の影響などで雨が降り続き、東京都心では連続降水日数が37日になり最長記録を更新しました。雨が続いたことによる各地での災害被害だけでなく、農作物等への悪影響も出ているようです。日本だけではなく世界的に異常気象が頻発している昨今、過去の常識が通用しない世の中になってきているとも言われています。将来のことはどうなるかはわかりませんが、何が起こっても慌てないように、頭の体操をして、事前想定と可能な範囲での準備と対策は怠らないようにしておきたいものです。

さて、先月の世界のマーケットですが、世界の株式市場は長期金利上昇と原油高によって軟調に推移した1ヶ月となりました。上旬は中東情勢の緊迫化により原油価格と金利が上昇したことにより株式市場は下落しました。中旬以降は、原油高の継続やFRBの利上げにより相場は上値の重い展開が続いて米国株はNYダウが-4.29%の下落となりましたが、一方でAI半導体関連のハイテク株は上昇して、ナスダックは+1.8%の上昇となりました。日本株についても方向感に欠ける展開の中、日経平均株価は前月比+0.67%の上昇となる一方で、TOPIXは-1.1%の下落となりました。また、為替相場については、日米欧の中央銀行が政策金利を揃って0.25%引き上げる中、ドル円レートは月初の1ドル160円台から157円台へ、ユーロ円は1ユーロ185円台から178円台へ円高になって月末を迎えました。



そのような中でありがとうファンドは月間で-3.4%の下落となりました。主に為替相場が円高に振れたことや先月大きく上昇していた金(ゴールド)が下落に転じたことがマイナス要因となりました。

今後の見通しですが、中東情勢の泥沼化や長期化するロシア・ウクライナ戦争の拡大懸念によるエネルギー危機によって、インフレ懸念が継続していくものと考えられます。また、来月11月に行われる米国中間選挙の動向や選挙を意識したトランプ大統領の発言や政策にマーケットが振り回される可能性も少なくないでしょう。一方、AI・半導体関連株に関しては引き続き注意が必要で、今後の業績期待から株価がさらに上昇する可能性がある一方、既に株価には市場の期待が相当程度織り込まれているので、業績期待の前提条件が崩れれば大きな調整がいつ起こっても不思議ではありません。引き続き株式市場はボラティリティの高い相場展開が続いていくと思われます。

ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 304 号 一般社団法人資産運用業協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

物価高時代の生活防衛と資産運用

今月10月から飲食料品を中心に3000品目以上の値上げが行われました。「今年、何回目?」「またか」と感じているお客さまも少なくないのではないのでしょうか。もはや値上げのニュースを聞いても驚かなくなっているくらいに物価上昇が継続していますが、20年以上のデフレ時代に慣れてきた私たちにとっては、インフレマインドにすぐに切り替えていくことは難しいのではないのでしょうか。



現在の物価上昇の要因は、人件費の上昇、原材料やエネルギー価格高騰、物流コスト上昇、円安などの供給側からのコストプッシュ要因が挙げられます。原材料やエネルギー価格の高騰は中東情勢やウクライナ戦争等の世界情勢の影響を受けているので、私たちがコントロールすることは困難です。人件費は人手不足によって上昇し、物流コストは人件費の上昇とエネルギー価格上昇に起因しているため人件費とエネルギー価格が落ち着いてこないと上昇は止まりません。

先月日銀は0.25%利上げをして政策金利を約31年ぶりの水準となる1.25%としましたが、これはインフレや円安を抑制する目的があると言われていますが、利上げが直接物価上昇を抑える効果はなく、供給不足のコストプッシュインフレに対して、金融引き締めを行っていくことで需要を抑えて景気を冷ましていくことで需要側から間接的に供給不足を解消しようとするものになります。また、為替相場に関しては他国との相対的な関係など様々な要因で決定していくものなので利上げしたからすぐに円高になったり、円安が止まったりするものでもありません。

その一方で利上げの作用としては、預金金利が上昇し利息が増えるメリットがある代わりに、企業の借り入れや住宅ローン金利への影響はダイレクトに作用します。企業の設備投資のための借り入れや個人が住宅を購入するための住宅ローンの申込みは減少することが予想されますし、既にお金を借りている企業や住宅ローンを変動金利で借りている個人の返済負担は増加することになります。金利上昇は銀行など金融業界にはプラスに作用しますが、借入の多い中小零細企業や不動産業界などには逆風になってくると言われています。

政府も様々な物価高対策を実施しており、さらに、食料品消費税率を期間限定で引き下げて対応しようとしていますが、根本原因が解消されなければ物価上昇はとまらないので、物価高は継続していくのではないかと思います。

今後も物価高が継続していくとすれば、今までと同じ考え方で生活していけば、苦しくなるばかりなので、生活防衛をしていく上ではインフレマインドへの転換が大切になってくるでしょう。

つまり、デフレ時代には少し待っていればモノ値段やサービス価格が下がるかもしれないと考えられていましたが、インフレ時代には「必要なものがあれば値段が上がる前に今のうちに買っておこう」という考え方に切り替えていく必要があるでしょう。また、物価上昇が続いていく見通しの中では、モノの価値が上がり、お金の実質的な価値が下がるので、私達が保有している現預金は実質目減りして購買力が低下していきます。そのため、資産運用においては、資産防衛の観点からインフレに強い株式などの資産にも分散投資していく必要性が増してくる考えられます。

今後もありがとうファンドでは、お客さまから託されたご資金を長期投資で世界経済及び企業利益の成長の恩恵を享受できるように国際分散投資をするとともに、地政学リスクやインフレリスクなどに備えて金(ゴールド)にも分散投資することでダウンサイドリスクを抑えながらインフレに負けずに安定した運用成果の提供を目指して運用を行って参りますので、引き続きありがとう投信をご愛顧いただきますよう何卒よろしくお願い申し上げます。



ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人資産運用業協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

★ 積立投資のすすめ！

長期投資には、コツコツと分散しながら長期に渡って購入する「定期積立サービス」がおすすめです。

「定期積立サービス」とは

…毎月決まった日にお客様が決めた金額を、自動で購入してお客様の資産をコツコツ積み立てていくやり方です。引落とし手数料も無料♪お忙しい方にもおすすめの投資方法です。



①『無理なく続けられる』

お手元にまとまった資金がなくても、毎月少しずつ積み立てることで大きな資産へとつながっていきます。貯金感覚で続けていきながら、複利効果でリターンチャンスとなります。

②『リスクを分散』

定額での購入で基準価額が高い時に少なく、安い時に多く投資することができます(ドル・コスト平均法)。相場が良い時も悪い時も投資を続けることで、平均買付単価を低く抑える方法です。

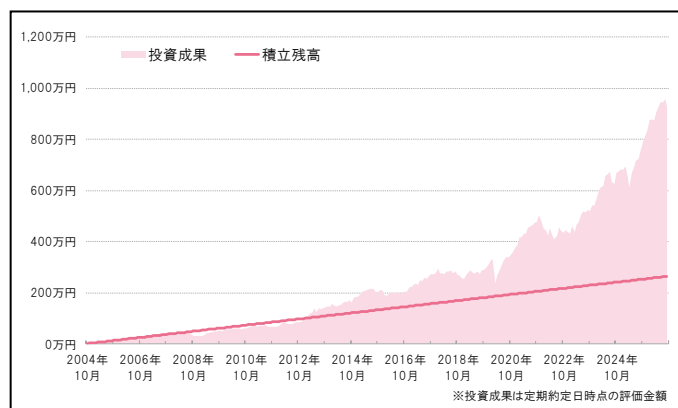
③『時間分散』

タイミングを分けることで、リスクを分散することができます。時間を味方につけることで、長期でじっくり投資を続けることができます。



**タイミングを見計らうのではなく、
時間を味方につけていきましょう！**

期間	平均取得単価	損益
1年	47,542円	+5.4%
3年	38,529円	+30.0%
5年	32,526円	+54.0%
10年	23,961円	+109.0%
初回(2004年10月)から	14,103円	+255.1%



＜ご参考＞毎月1万円積立した場合		
期間	投資額	評価額
1年	12万円	12万6423円
3年	36万円	46万7980円
5年	60万円	92万3935円
10年	120万円	250万8337円
初回(2004年10月)から	264万円	937万5873円

2026年9月30日現在(基準価額:50,086円)

投資信託をいつ買えばよいか？とのお客様の声が多いですが、投資信託は、タイミングではなく、**時間での分散が効果的**です。長期で常にタイミングを計ることはとても難しく、かなりの労力を必要とし、それでも確実にいいタイミングで買える保証はありません。

それよりも、ゆっくりと長い時間をかけて、コツコツ投資していくほうがはるかに続けやすく買付単価が平均化されることで、分散の効果が得られます。

※上記表は毎月同一金額を継続して積立した場合の平均取得単価となります。

※積立による購入は将来の収益を保証、基準価額下落時における損失を防止するものではありません。

※計算過程で出る端数の処理等、損益比率計算過程において簡略化した計算式を用いています。

ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人資産運用業協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

セミナーのお知らせ

お申し込みは弊社 HP まで♪ (<https://www.39asset.co.jp/seminar/info/>)

セミナータイトル	開催日	開催地	時間	講師
ありがとうファンド 第22期運用報告会	10月10日 (土)	東京	10:00～ 12:00	長谷 俊介・真木 喬敏 (ありがとう投信)
ありがとうファンド 第22期運用報告会	10月11日 (日)	福岡	13:30～ 15:30	長谷 俊介 (ありがとう投信)
ありがとうファンド 第22期運用報告会	10月18日 (日)	札幌	13:30～ 15:30	長谷 俊介・真木 喬敏 (ありがとう投信)
ありがとうファンド 第22期運用報告会	10月25日 (日)	大阪	13:30～ 15:30	長谷 俊介 (ありがとう投信)
ありがとうファンド 第22期運用報告会	10月31日 (土)	仙台	13:30～ 15:30	長谷 俊介 (ありがとう投信)
ありがとうファンド 第22期運用報告会	11月1日 (日)	名古屋	13:30～ 15:30	長谷 俊介 (ありがとう投信)

別紙セミナー案内もご覧いただければと思います。

ありがとうファンド第22期運用報告書交付のお知らせ

2026年8月31日にありがとうファンドの第22期決算を行いました。

決算日時点でありがとうファンドを保有しているお客さまには、「交付運用報告書」をマイページ上での交付、または郵送させていただきましたので、ご確認いただきますようお願いいたします。

尚、ホームページ上にも運用報告書を公開しております。

こちら(<https://www.39asset.co.jp/39fund/report/#report>)からご覧ください。

「お友達紹介プログラム」を開始しました！この機会にお友達に紹介してみませんか？

すでに口座をお持ちのお客さまがお友達をご紹介していただいた場合に、弊社から感謝の気持ちを込めてプレゼント贈呈させていただきます。お客さまのお友達でありがとう投信の口座開設に興味をお持ちのかたがおられましたら、是非ご紹介をお願いいたします。

詳しくはこちら(<https://www.39asset.co.jp/service/campaign/shokai/>)をご覧ください。

**お友達紹介
プログラム**

紹介を受けた方がありがとう投信の
新規口座開設+定期積立を
3ヶ月継続していただくことで
“紹介したお客さま”と“紹介を受けた方”に
感謝の気持ちとしてプレゼント贈呈！

ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人資産運用業協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

🌸 今月のFP情報コラム

弊社FPが家計に役立つ様々な情報を毎月発信していきます！
皆さまの金融リテラシー向上の一助にもなれば幸いです。

台風やゲリラ豪雨で車が冠水！ 車両保険の仕組みと注意点

近年、集中豪雨や台風による浸水被害が増加しており、愛車が水没してしまうリスクは誰にとっても他人事ではなくなっています。万が一、車が冠水や浸水などの水害に遭ってしまった場合、その損害を補償してくれるのが自動車保険の「車両保険」です。今回は、万が一に備えて知っておきたい水没損害の「車両保険」について解説します。



台風、洪水、高潮による水没損害は「車両保険」で補償される？

自動車保険の「車両保険」を契約していれば、台風、洪水、高潮による水没損害は基本的に補償の対象となり、修理費用や全損時の保険金を受け取ることができます。

大前提として、強制保険である自賠責保険は対人賠償のみを目的としているため、車の修理代は一切補償されません。そのため、水没損害の修理や買い替えの費用をカバーするには、任意の自動車保険にオプションとして付帯する「車両保険」への加入が必須条件となります。

	保険の種類	水没損害の補償
強制	自賠責保険	×
任意	対人賠償保険	×
	対物賠償保険	×
	車両保険	○



車両保険には大きく分けて、補償範囲が広い「一般型」と、保険料が安いかわりに補償範囲が限定された「エコノミー型」の2種類あることが一般的です。エコノミー型は、自損事故(単独事故)や当て逃げ被害などが補償対象外となります。水没被害は「台風」「竜巻」「洪水」「高潮」といった自然災害によるものとみなされるため、基本的にはどちらのタイプに加入していても保険金が支払われます。

車両保険で水害が補償されない主なケース

台風、洪水、高潮などでお車が水没した際、自動車保険で補償されるかどうかは、被害の原因や加入している車両保険のタイプによって異なります。ここでは、車両保険で補償されない主なケースについて解説します。

■地震・噴火・津波による水没は原則として対象外

「地震」や、それに伴う「津波」によって車が水没・流失した場合は、通常の車両保険では免責(補償対象外)とされるのが一般的です。津波による水没にも備えたい場合は、特約として「地震・噴火・津波車両全損時一時金特約」などを別途契約しておく必要があります。

ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人資産運用業協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

■故意・重大な過失などでは保証されない場合がある

災害の規模だけでなく「契約者や運転者の過失」が原因とみなされる場合も、補償が受けられない、あるいは制限される可能性があります。例えば、すでに道路が深く冠水していることが明らかな状態であるにもかかわらず、無理にそのエリアへ車を進入させて水没させた場合などは、自己の過失による損害と判断され、保険金の支払いを拒否されるリスクがあります。ただし、最終的な判断は個別の約款や事故状況によるため、保険会社への確認が必要です。

水没車の全損・分損とは？

水没損害の程度によって「全損(ぜんそん)」と「分損(ぶんそん)」の2つに区別され、受け取れる保険金の額やその後の手続きが大きく異なります。

車両保険における全損とは、修理が不可能な状態(物理的全損)、あるいは修理費用が「契約時の設定金額(車両保険金額)」を超えてしまう状態(経済的全損)を指します。つまり「修理するよりも買い替えた方が安い」状態をいいます。さらに水没では、車の電気系統やエンジンの内部、ハイブリッド車やEVの高電圧系統などに影響が及ぶ可能性があり、見えない部分の損傷で修理費が高額化し、結果として全損と判定されるケースが多いのが特徴です。外観だけでは損害の大きさを判断できないため、保険会社や整備工場に確認してもらいましょう。



全損と認定された場合、一般的には免責金額(契約者が自己負担する金額)は差し引かれず、設定した保険金額が支払われます。ただし、全損保険金が支払われた時点でその車両の所有権は保険会社に移り、現在の自動車保険契約自体も終了することになります。所有権が移った車両は、保険会社が引き取り、処分まで行うのが一般的で、自分で勝手に修理・廃車にできません。

全損に該当しない損害は、一般に分損と判定され、修理費などの損害額から、契約時に設定した免責金額を引いた額が保険金として支払われます。修理費が免責金額以内であれば保険金は支払われません。

保険金を受け取って車を修理すれば、その後も同じ車に乗り続けることができますが、水没車の場合は後から電気系統のサビや不具合、異臭といったトラブルが再発するリスクを伴うため、自己判断で使用を再開せず、整備工場などの専門業者に点検してもらいましょう。

また、分損で保険金を使用した場合は、翌年度のノンフリート等級※が1等級下がり、「事故有期間」が1年加算されるため、翌年の保険料が上がる点にも注意が必要です。修理費用が数万円程度と少額な場合は、保険を使わずに自費で修理した方が費用を抑えられるケースもあります。契約条件によって扱いが異なるため、請求前に確認しておく判断しやすくなります。

※ノンフリート等級:自動車保険のノンフリート等級とは、事故歴に応じて保険料の割引や割増を決める1から20までの段階的な区分(制度)のこと



ローンや残価設定型クレジット(残クレ)の返済が残っている車が水没してしまったら！？

車の使用継続が不可能(廃車)になったとしても、残っているローンや残価の支払い義務はそのまま残ります。車という担保や実体がなくなっても、金融機関やディーラーとの間で交わした「お金を借りて返す」という契約自体は消滅しないためです。

このような状況に直面した際は、まず速やかに加入している自動車保険(車両保険)の契約内容を確認し、保険会社へ連絡を入れましょう。車両保険に加入しており、かつ「台風」や「洪水」「高潮」といった自然災害による水没が補償対象に含まれていれば、保険金が支払われます。水没によって修理が不可能な「全損」と判定された場合、支払われる保険金で残債を一括清算するのが一般的な解決方法となります。

なお、特約として「車両全損時諸費用特約」や「新車特約(新車買替特約)」を付けていれば、次の車の購入費用をカバーできる可能性があります。

一方で、車両保険に加入していない場合や、受け取れる保険金だけでは残債をすべて返済しきれない場合は、自力で残りの債務を支払い続けるか、一括での清算を求められることになります。特に残価設定型クレジット(残クレ)の場合は、最終回に車を返却することを前提とした契約になっているため、車が水没して価値がゼロ(または廃車)になると、最終回に据え置かれていた「残価」も含めた全額の支払いを求められるケースがほとんどです。どうしても支払いが困難な場合は、勝手に放置せず、融資を受けているローン会社やディーラーに事情を話し、今後の支払い方法やスケジュールの変更について相談することが不可欠です。

また、分損(水没しても修理可能な状態)と判断された場合、契約は継続となり、自己負担もしくは保険金で修理をして乗り続けることになります。しかし、修理を行った場合、返却時の評価が大幅に下落するため、「当初予定されていた残価」と「水没後の実際の査定額」との差額分の精算金(ペナルティ)が発生する可能性があります。

車両保険に加入する必要性が高いケース

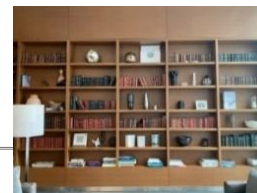
- 新車・高級車・市場価値(時価)が高い車に乗っている： 車両の価値や修理費用が高額になるため。
- カーローンの残債がある： 車が全損で使えなくなってもローンだけが残るのを防ぐため。
- 日常的に車を頻繁に使う： 通勤や仕事などで利用頻度が高く、事故のリスクに遭う機会が増えるため。
- 災害リスクが高い地域に住んでいる： 台風、洪水、飛び石など、予測できない自然災害の被害に備えるため。

水没被害への備えとして心強い車両保険ですが、すべての損害を完全に補填できるわけではありません。まずは、保険の仕組みや条件を理解し、加入の有無や特約の選択には、お住まいの地域の災害リスクや愛車の現在価値、そして保険料と安心のバランスを考慮した上で、冷静に見極める必要があります。異常気象が日常化しつつある今、ぜひこの機会に、ご自身の保険の「中身」をチェックしてみてはいかがでしょうか。内容に不安がある場合は、早めに保険会社や代理店へ相談しましょう。



ありがとうの本棚

弊社役職員が最近読んだ本を紹介させていただくコーナーです。
資産運用や投資、金融や経済全般に関わらず様々な書籍を幅広く取り上げていきます。



～今月の一冊～

ゴールド 金の世界史：神話・マネー・政治・権力 世界を動かす普遍の価値 ドミニク・フリスビー（著）、中島 由華（翻訳） 形式：単行本

本書は、人類を魅了し続けてきた「金 ゴールド」を軸に、古代から現代にかけて政治、金融に及ぼした影響について書かれた歴史書です。デジタル貨幣や管理通貨制度が主流となった現代においても、なぜ金が普遍的な価値を持ち続けているのかを神話、経済、政治、権力の側面から紐解いていきます。

古代の王たちが神権の象徴として金を求めた時代から、大航海時代の探検家たちが血眼になって新大陸を目指したゴールドラッシュ、そして近代の金本位制の確立と崩壊に至るまで、人々が富と支配を求めていかに金を奪い合ってきたかということが様々な角度から描かれています。いつの時代も大規模な戦争や政治的野望の背後には、必ずと言っていいほど金が深く絡んでおり、権力の拡大と崩壊の歴史はそのまま金の移動の歴史でもあるということがよくわかります。

本書の中では「日本の山下財宝」や「ナチスの隠し財宝」といった歴史の裏側に潜む、都市伝説やフィクションに近いエピソードにも触れながら、権力者がいかに金を求め、支配の道具にしてきたかがつづられています。

金本位制が失われた現代においても、不安な時代が来るとなぜ人々は金に頼るのか、その理由が歴史の流れを通じて見えてきます。経済の仕組みや数字の解説だけでは見えてこない、人間ドラマや社会の裏側を描いた物語として興味深く読み進めることができるので、歴史の教養を深めたい人や現在の経済ニュースの背景を知りたい人にもおすすめの一冊です。



毎月定期購入サービスのスケジュール

今後のスケジュールになります。各締切日に間に合わない場合、翌月の取扱いとなりますのでご了承ください。

	【新規で定期購入を申込】 【引落し口座変更】	【定期の引落とし金額を変更】 【定期引落しを中止】	【引落日】	【買付申込日】	【約定日】 (ファンドの購入日)
2026年 10月分	9月3日(木)	9月24日(木)	10月6日(火)	10月15日(木)	10月19日(月)
2026年 11月分	10月5日(月)	10月26日(月)	11月6日(金)	11月16日(月)	11月18日(水)
2026年 12月分	11月5日(木)	11月25日(水)	12月7日(月)	12月15日(火)	12月17日(木)
2027年 1月分	12月3日(木)	12月23日(水)	1月6日(水)	1月15日(金)	1月19日(火)

ありがとうファンド売買申込不可日のお知らせ

下記の売買申込不可日にお申込みされた場合、自動的に翌営業日以降の受付となりますのでご注意ください。

10月26日(月)	銀行休業日	アイルランド	11月26日(木)	感謝祭	ニューヨーク
-----------	-------	--------	-----------	-----	--------

ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人資産運用業協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目録見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

ありがとうファンドのリスク及び手数料等について

リスク	当ファンドは、ファンドオブファンズであり、国内外の投資信託証券などの値動きのある証券に投資します。また、外貨建て投資信託証券に投資する場合には為替の変動もあります。なお、投資信託証券の組入証券の発行会社の倒産や財務状況の悪化等の影響により、価額が下落し、損失を被ることがあります。したがって、ご投資家の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本が割り込むことがあります。ファンドに投資することに伴うリスクはお客様のご負担となりますし、ファンドへの投資による損益も全てお客様に帰属します。また元本及び利息の保証はなく、預金保険の対象でもありません。
手数料	申込手数料・換金手数料・信託財産留保金はありません。
信託報酬	ファンド純資産総額に年 0.99% (税抜 0.9%) 以内の率を乗じて得た額とします。 [実質的信託報酬 信託財産の純資産総額に対し年 1.30% ± 0.15% (概算)] ※当ファンドは他のファンドを投資対象としており、投資対象ファンドにおける所定の信託報酬を含めてお客様が実質的に負担する信託報酬を算出しております。
その他費用	ファンドに組入れる有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料(消費税を含む)及び税金等の費用は信託財産から支払われます。また、その他、信託事務の処理に要する諸費用、監査費用、受託会社の立替えた立替金の利息等についても、信託財産の毎月末加重平均残高が 120 億円以上の場合には、諸経費のうち 100 万円(税抜き)までは信託財産から支払われます。※実費の額は、今後組み入れファンドの追加や変更があった場合、変動してくるものであるため事前に料率、上限額等を表示することができません。

※リスク・費用等の詳細につきましては、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。目論見書のご請求は、ありがとう投信株式会社 カスタマーサービス部まで。【〒101-0047 東京都千代田区内神田 2-15-9 フリーコール 0800-888-3900】

■レポートで使用している指数・為替データの注記： 騰落率は、ファクトセットよりデータを参照し、弊社にて計算しております。

※資料に記載されている各国・地域市場の指数は他に断りの無い限り以下の指数を使用しています。

【日本株】→FactSet Market Indices Japan 配当込み(税引き前配当再投資)

【世界株】→FactSet Market Indices World 配当込み(税引き前配当再投資)

【米国株】→FactSet Market Indices United States 配当込み(税引き前配当再投資)

【欧州株】→FactSet Market Indices Europe 配当込み(税引き前配当再投資)

【新興国株】→FactSet Market Indices Emerging 配当込み(税引き前配当再投資)

■R&I ファンド大賞について

R&I「ファンド大賞」は、R&Iが信頼し得ると判断した過去のデータに基づく参考情報(ただし、その正確性及び完全性につきR&Iが保証するものではありません)の提供を目的としており、特定商品の購入、売却、保有を推奨、又は将来のパフォーマンスを保証するものではありません。当大賞は、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第299条第1項第28号に規定されるその他業務(信用格付業以外の業務であり、かつ、関連業務以外の業務)です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置が法令上要請されています。当大賞に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利はR&Iに帰属しており、無断複製・転載等を禁じます。



ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 304 号 一般社団法人資産運用業協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

ありがとうファンド 第22期運用報告会

10月より全国で運用報告会を開催いたします！

ありがとうファンドはおかげさまで8月31日に第22期ファンド決算を迎えました。
これも皆さまのご支援の賜物であると感謝申し上げます。つきましては、第22期運用報告会を10月より全国6都市で開催いたします！

運用報告会では第22期の運用報告と今後の見通し、運用方針について詳しくご報告させていただきます。

是非この機会にご参加頂ければ幸いです。皆様のご参加をお待ちしております！

東京

2026年10月10日（土）10:00～12:00

ありがとう投信本社3F

福岡

2026年10月11日（日）13:30～15:30

アクロス福岡 602

札幌

2026年10月18日（日）13:30～15:30

かでる2. 7(北海道立道民活動振興センター)740 研修室

大阪

2026年10月25日（日）13:30～15:30

大阪府立男女共同参画・青少年センター(ドーンセンター)
セミナー室2

仙台

2026年10月31日（土）13:30～15:30

仙都会館 7F-A

名古屋

2026年11月1日（日）13:30～15:30

ウインクあいち（愛知県産業労働センター） 会議室 1305



代表取締役社長
長谷俊介



ファンドマネージャー
真木喬敏

お申込みは、お電話・ホームページからどうぞ
URL: <https://www.39asset.co.jp/seminar/info/>

フリーコール: 0800-888-3900



ありがとう投信

Arigato Asset Management inc.

